

津田塾大学

☎197-8577 東京都小平市津田町2-1-1 企画広報課 ☎042-342-5113 (HP) http://www.tsuda.ac.jp/
(E-mail) kouhou@tsuda.ac.jp(オープンキャンパス等問い合わせ)、nyushi@tsuda.ac.jp(入試に関する問い合わせ)

QRコード



資料請求

請求ハガキ	巻末ハガキ
料金	無料
完成時期	5月下旬

TOPICS

- 個性を重んじる少人数教育により、社会に貢献できる女性を育成
- 多彩できめ細やかなキャリア支援と98.3%の就職決定率
- 満足度の高い留学実績と充実した留学支援・サポート
- 2019年4月 多文化・国際協力学科新設(仮称・設置届出中)

大学GUIDE

日本最初的女子留学生のひとり、津田梅子によって1900年に創立されて以来、社会に貢献できる人材を輩出してきました。1学年690人と小規模ながらバランスのとれた大学として発展を続け、大学院や研究所も備え、研究を継続できる環境を整えています。

教育体制の特色として、少人数制、定評のある語学教育、専門を深めるコース制、他学科・他コースの専門科目が選択できる柔軟なカリキュラム等があげられます。特にすべての学部・学科で1年次から開かれる2~20人の少人数セミナーは教育と研究の基幹となっています。

英語英文学科—確かな英語力と豊かな専門性を追求する

英語圏の言語や文化をトータルな視点でとらえ、英語を通して異文化を探究していく総合的な学科です。イギリス文学・文化、アメリカ文学・文化、英語学、英語教育学、異文化コミュニケーション、Japan Studies in Englishの6コースからなる広い専門領域を学びます。2年次から専門的な学習が始まり、3・4年次にはさらに各コースに所属する専門セミナーを選択して研究を深めていきます。特設プログラムとして、翻訳・通訳プログラムとTeachers of Excellenceを設けています。

国際関係学科—語学力を基礎に国際的視野を養う

世界で起きているさまざまな問題について多様な視点から国際的かつ学際的に考察し、広い視野を持って専門分野の学習や研究を深めていきます。各自の関心や興味に応じて、3年次でのグローバル・国際関係、地域・文化、国際日本の3つのコース選択を念頭に、2年次から専門のセミナーで、各コースで学ぶ考察・手法を特定の地域に関する研究にクロスさせ、立体的に学びを深めていきます。また、英語に加えて6カ国語から1つを選択し、4年次レベルまで学ぶことができます。

DATA・FILE

- 教員数……91(教授51 准教授28 専任講師5 助教7)
- 学生数……学部2,930(女子のみ) 大学院72
- キャンパス面積……103,171㎡
- 蔵書数……約43万冊 (2017年5月1日現在)

●学科組織

学芸学部	英語英文学科	220
	(2019年4月英文学科より名称変更予定)	
	国際関係学科	200
	多文化・国際協力学科 (仮称・設置届出中)	70
総合政策学部 (2017年4月開設)	数学科	45
	情報科学科	45
	総合政策学科	110

数学科—論理力と想像力を駆使し次代の数学を探索する

4年間を通して行われる少人数制のセミナーで基礎力を身につけながら、最新の分野に及び高度な内容を学びます。1・2年次では、高校で学んだ数学を再確認しながら代数学、幾何学などの基本科目を学習し、基礎を固めます。専門科目は、古典数学から最先端の数学まで配置。情報科学科との連携を図り、プログラミングの知識も習得します。

情報科学科—世界に通用する情報科学のプロを育てる

情報科学科では、情報科学の専門知識と高いコミュニケーション能力を武器に、国境を越えてICTに関するさまざまな課題を解決できる人材を育成します。

選択科目には、システムやネットワークなど5分野を配置。「情報科学英語」という科目を設置し、英語力の強化を図ります。プロジェクト科目は、学んだ理論や知識を実践的に高めるもので、2~3人のチームごとにテーマを設定し、実際に動作するシステムを構築します。

総合政策学科—実践的な課題解決能力を身につける

高度な英語力とデータ分析力を備え、社会に貢献できるリーダーシップを持った女性を育成します。基礎科目の「英語」「ソーシャル・サイエンス」「データ・サイエンス」を必修とし、さらに3年次にコースとして「パブリック・ポリシー(公共政策)」「エコノミック・ポリシー(経済政策)」「ソーシャル・アーキテクチャ(社会情報)」「ヒューマン・ディベロップメント(人間社会)」の4つの課題領

新学科設置(設置届出中)

- 多文化・国際協力学科(仮称)
- 国際化の進展により、社会構造や文化の違いから引き起こされるさまざまな問題を分析・解明し、よりよい「共生型」社会をつくるためのアプローチの方法や解決策を国内外のフィールドワークを通して探ります。2年次からは「多文化共生」「国際協力」「国際ウエルネス」の3つのコースより選択して、より実践的な課題解決力を養います。



域から1つを選択し、実践的な課題解決能力を身につけます。4年間都心の千駄ヶ谷キャンパスで学びます。

CAMPUS情報

交流プログラム

多摩アカデミックコンソーシアム(TAC)加盟の国際基督教大学、国立音楽大学、武蔵野美術大学、東京経済大学、東京外国語大学と単位互換制度を実施。図書館の相互利用も可能です。

また、慶應義塾大学、早稲田大学、国際基督教大学と協力して、国連大学グローバル・セミナーの運営に携っています。

留学情報

アメリカのプリンマー大学、カナダのマギル大学、英国のエディンバラ大学、台湾の淡江大学、フィリピン大学など12の国・地域の28大学と協定を結び、学生の派遣や受け入れを行っています。

夏期休暇にはアメリカ・カナダ・イギリスの大学で語学研修を実施。1年間に50~60人の学生が留学し、450人以上の学生が各国で行われる語学研修等に参加しています。盛んな国際交流をサポートしているのが国際センター。海外大学の担当者による留学説明会や、留学経験者が本音で説明する「留学フェア」、「国際ボランティアプログラム」などの各種説明会を実施するほか、資料の閲覧、留学アドバイザーによる相談などを行っています。

オープンキャンパス

- 【小平キャンパス】7/15日、8/11(土祝)、8/12日、2019/3/26日
- 【千駄ヶ谷キャンパス】7/8日、8/5日、2019/3/24日
- 時間や内容などの詳細は津田塾大学のホームページをご覧ください。上記の日程以外でも大学見学は可能です。

卒業後の進路

就職支援 個別相談を重視し、学生の個性に合った就職活動ができるよう、少人数だからこそできる一人ひとりを大切にサポートを行っています。また、就職先が内定した4年生による相談会やOGを迎えての企業説明会、公務員試験対策講座など、多くのガイダンスや講座を開催。2017年3月卒業生の就職決定率は98.3%です。

主な就職先 三菱東京UFJ銀行、日本銀行、全日本空輸、日本航空、東京海上日動火災保険、三菱商事、三井物産、富士通、日立製作所、トヨタ自動車、NTT東日本、KDDI、野村総合研究所、NHK、日本経済新聞社、中学・高校教員、公務員など

入試GUIDE (前年度参考)

- ①一般入試A方式(大学独自入試)/全学部
- ②一般入試B方式(センター試験+個別学力試験)/学芸学部
- ③一般入試C方式(センター試験のみで選考)(前期)/全学部 (後期)/学芸学部(英文学科)、総合政策学部
- ④指定校制推薦/全学部
- ⑤公募制推薦/学芸学部(英文学科・数学科・情報科学科)
- ⑥特別入試/全学部
- ⑦AO入試/学芸学部(英文学科・国際関係学科・情報科学科)、総合政策学部
- ⑧社会人入試/学芸学部(英文学科・国際関係学科・数学科)、総合政策学部

奨学金

大学独自の給付奨学金として、〈津田スピリット〉奨学金(給付・予約型)、梅子スカラシップ(学業)、課外活動奨励金、海外留学奨学金等を用意しています。このほか、日本学生支援機構をはじめとする各種奨学金をサポートしています。

資料請求方法：巻末ページの「パンフレット一括請求」をご覧ください。